

認定職業訓練実施状況報告書

認定職業訓練の実施状況を次のとおり報告します。

令和7年〇月〇日

(令和7年3月31日現在)

事業所（又は団体）の名称 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇号

事業所（又は団体の事務所）の所在地 職業訓練法人〇〇地区職業訓練協会

事業主の氏名又は名称及び代表者の氏名 会長 〇〇 〇〇 押印不要

茨城県知事 大井川 和彦 殿

※事業の種類	〇〇〇〇業 ※日本標準産業分類中分類による産業名を記入すること。	※常用労働者数	〇〇〇人
職業訓練施設の名称及び所在地	〇〇地区職業訓練校 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号		

1 訓練生数

(1) 普通職業訓練（普通課程）及び高度職業訓練（専門課程及び応用課程）

職業訓練の種類	訓練課程名	訓練科名	訓練期間	訓練生数（当該年度訓練開始当初（4月）時点）										訓練中止者数		技能照査合格者数及び不合格者数				修了者数 （合格者＋不合格者）	
				年度別内訳					学歴・訓練歴別内訳					離職者	その他	合格者数	不合格者数				
				第一年度	第二年度	第三年度	合計	※合計のうち女性	中学校卒業業者数	高等学校卒業業者数	短期大学卒業業者数	大学卒業業者数	専門課程の高度職業訓練修了者数				学科のみ	実技のみ	学科及び実技		合計
普通職業訓練 ()	普通課程	建築施工系 木造建築科	2年	22	19	-	41	13	-	28	8	5	-	3	2	16	1	0	1	2	18
<p>※上記は、普通職業訓練、普通課程、建築施工系、木造建築科で高校卒業生対象の2年訓練を実施した場合の例。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該年度訓練開始当初（R7.4月）時点、1年生22名、2年生19名の計41名（41名のうち、女性は13名）が在籍。うち、中卒者はゼロ、高卒者は28名、短大卒者が8名、大卒者が5名。 ・訓練を中止した者は5名（1年生4名、2年生1名）で、うち3名が当該事業者を離職（2名は在職のまま訓練のみ中止）。 ・2年生のうち、訓練を中止した1名を除く18名が技能照査を受検。うち16名が合格し、2名が不合格。なお、修了者数は合格者数＋不合格者数とする。 																					
普通職業訓練 ()	普通課程 (中卒)	建築仕上系左官・タイル科	3年	22	17	21	60	23	40	16	0	4	-	2	4	18	0	1	0	1	19
<p>※上記は、普通職業訓練、普通課程、建築仕上系、左官タイル科で中学卒業生対象の3年訓練を実施した場合の例。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該年度訓練開始当初（R7.4月）時点、1年生22名、2年生17名、3年生21名の計60名（60名のうち、女性は23名）が在籍。うち、中卒者は40名、高卒者は16名、短大卒者が4名、大卒者がゼロ。 ・訓練を中止した者は6名（1年生3名、2年生1名、3年生2名）で、うち2名が当該事業者を離職（4名は在職のまま訓練のみ中止）。 ・3年生のうち、訓練を中止した2名を除く19名が技能照査を受検。うち18名が合格し、1名が不合格。なお、修了者数は合格者数＋不合格者数とする。 																					
合計	-	2	-	44	36	21	101	36	40	44	8	9	-	5	6	34	1	1	1	3	37

(注) 1 「訓練生数」欄は、当該年度訓練開始当初（4月）の人数を記入すること。

また、「※合計のうち女性」欄には、訓練生数の合計のうち女性の訓練生の数を記載すること。

2 「訓練中止者数」「技能照査合格者数及び不合格者数」欄は、当該年度の人数を記入すること。

3 「修了者数」欄は、当該年度の修了者数を記入すること。

4 「職業訓練の種類」欄の括弧内は、通信制で学科を実施した場合に「通信制」と記入すること。

5 「訓練課程名」欄の括弧内は、中卒者を対象とする訓練の場合に「中卒」と記入すること。

6 「訓練中止者数」の「その他」欄は、事業所に在籍しているが、病気・事故等で訓練を途中で止めた訓練生の数を記入すること。

(2) 普通職業訓練（短期課程）及び高度職業訓練（専門短期課程及び応用短期課程）

職業訓練の種類	訓練課程名	訓練科名	実施期間	学歴別訓練数 (人)								訓練中止者数 (人)		修了者数 (人) (A)-(B)
				(A)								(B)		
				中学校卒業 者数	高等学校 卒業者数	短期大学 卒業者数	大学卒業 者数	専門課程 の高度職 業訓練修 了者数	合計	※合計の うち女性	離職者	その他		
普通職業訓練 ()	短期課程	機械系 機械製図課 CAD 基礎コース	R6 10/10～ 10/20	-	10	4	6	-	20	8	0	0	20	
普通職業訓練 ()	短期課程	機械系 機械製図課 CAD 応用コース	R7 1/15～ 2/25	-	16	2	4	-	22	11	2	1	19	
<p>※上記は、普通職業訓練、短期課程、機械系、CAD 基礎コース及び CAD 応用コースを実施した例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CAD 基礎コースは 20 名 (20 名のうち、8 名が女性) 受講し、全員修了。 ・ CAD 応用コースは 22 名 (22 名のうち、11 名が女性) 受講し、2 名が離職により・1 名がその他理由により訓練中止、残り 19 名が修了。 														
()														
()														
()														
合計	-	2	-	-	26	6	10	-	42	19	2	1	39	

- (注) 1 「学歴別訓練生数」「訓練中止者数」「修了者数」欄は、当該年度（4～3月）の人数を記入すること。また、「学歴別訓練生数」については、「合計」と「※合計のうち女性（合計のうち女性の訓練生の数）」も併せて記載すること。
- 2 「訓練中止者数」の「その他」欄は、事業所に在籍しているが、病気・事故等で訓練を途中で止めた訓練生の数を記入すること。

2 訓練実施状況

(1) 普通職業訓練（普通課程）及び高度職業訓練（専門課程及び応用課程）

職業訓練の種類	訓練課程名	訓練科目	教科の科目	訓練時間数				試験実施月日	技能照査実施月日
				第一年度	第二年度	第三年度	合計		
普通職業訓練	普通課程	建築施工系 木造建築科	普通学科						
			社会	35	35		70	R7.3.18	R7.3.18
			体育	35	35		70	R7.3.18	
			数学	40			40	R7.3.18	
			小計	110	70		180		
			系基礎学科						
			建築概論	20			20	R7.3.18	
			構造力学概論		20		20	R7.3.18	
			建築構造概論	20	20		40	R7.3.18	
			実技	500	500		1,000	R7.3.18	
学科計				920	920		1,840		
実技計				500	500		1,000		
合計				1,420	1,420		2,840		

(2) 普通職業訓練（短期課程）及び高度職業訓練（専門短期課程及び応用短期課程）

職業訓練の種類	訓練課程名	訓練科名	実施期間	訓練時間数	試験実施月日
普通職業訓練	短期課程	機械系 機械製図科 CAD 基礎コース	R6. 10. 10～ R6. 10. 20	105	R6. 10. 20
		機械系 機械製図科 CAD 応用コース	R7. 1. 15～ R7. 2. 25	120	R7. 2. 25
合計		2	-	225	-

3 団体構成員

構成員の氏名 又は名称及び 代表者の氏名	事業の種類	常用 労働者数 (人)	職業訓練の種類 及び訓練課程名	訓練生数 (人)	職業訓練 指導員数 (人)
○山 ○夫	建設業	10	普通課程	2	1
△川 △太	建設業	4	普通課程	1	-
合 計	2	14	-	3	1